

## 今日は3月3日桃の節句「ひなまつり」です。

こどものもりの絵のコーナー、ランチルームには「七段かざり」、そして造形のコーナーにはガラスケースに入った「三段飾り」、ほし玄関には「内裏様とお雛様」と2月に入って園のいろいろな箇所におひなさまが飾られ、それを見て、子どもたちは自分のイメージで自分のおひな様作りをしていました。「かんむりをつくろう」「ぼんぼりもある」と言って本物を見ながら次々と小物を作る子も、小さい子の手伝いをする子、と一人一組の「おひな様」が出来上がりました。

本日、グループ毎に「小さなひなまつりのお祝い」を「お雛飾り」の前に集まり行いました。「ひなまつり」の歌をうたい、一口ずつ「雛あられ」を心を込めてていねいに食べ、お祝いしました。日本には子どもたちの成長を願っての「桃の節句」があります。子どもの成長を願う大切な伝統行事を守っていききたいものですね。どの子も雛飾りに興味をもって見ている姿がありましたので、是非ご家族でお祝いをしていただけたらと思います。本日自分の「おひな様」を持ち帰りますので、心に残る思い出の一つとして飾っていただければと思います。



## 「ファミリーコンサートに向けて」

今、ランチ前には年齢別に集まって、園内のあちらこちらから楽しそうな歌声が聞こえてきます！  
◎ちゅうりっぷ組・こすもす組さんは一人一人が音楽と一緒に体を動かしたり、自分の好きなように動いたりとその日の気分をじょうずに受け止めながら、その子の気持ちを大切にしながら、もっとやりたいといって保育者と一緒に楽しむことを経験しています。当日はいつもと違う姿を見せる子いることでしょう。お母様と一緒に踊っていただくことで安心する子も出るでしょう。どうぞ一緒の時間を大切にしていいただければと思います。

◎さくら組さんは歌うこと、ダンスをすることを楽しんでします。音楽やピアノが聞こえると体が動き出し、楽しそうに歌ったり、踊ったりしている姿は思わず、保育者たちを和ませてくれています。他の年齢の子に見てもらい、「じょうず～」と言ってもらうことで、さらにより楽しそうな姿に意欲が感じられます。ご家族の笑顔と応援がさらに自信に繋がっていくことを願っています。

◎たんぽぽ組さんも小さい子と見せ合いっこをしながら、「じょうず～」と言ってもらい、少しずつ自信に繋がってきています。そして年長のすみれ組さんの姿からキチン立っている姿、お辞儀をする姿に、刺激をもらっていかれたらと思っています。今始まっている「当番活動の引継ぎ」を通して、「もうすぐ憧れのすみれ組」という意識で張り切っています。

◎年長のすみれ組さんはちょっと難しい「手話」と「うた」に挑戦！

「手話」は聞こえない人が見て、歌っている言葉がわかるようにする事、歌いながらやる事の難しさを感じながら2グループに分かれて長時間の緊張を経験しながらの練習を日々頑張っています。引き続き小さい子たちに見せることで、自信につながって行ってほしいと願っています。



※コロナ対策も踏まえ、当日のコンサートに向けて、体調を整えて迎えられるようにご家庭でもご協力をよろしく願いいたします。